

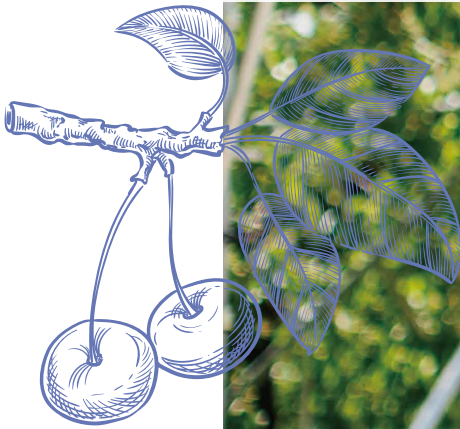
農トーク

# 学生がホソネ 農業経営学科

## スマート農業を リアルに体験。

近年注目されているITを活用したスマート農業を私たちもしっかり学びます。ドローンを活用した農作業を体験したり、大学の附属施設である「スマート農業研究・研修センター」で集積した育成データの分析・活用方法を身につけることができます。将来、より生産性・収益性の高い農業経営をするための貴重な学びの第一歩ですね。

次代の農業は  
ここから。



佐々木 麻衣  
青森県立三本木農業恵拓高等学校出身

## 経営者としての学びから

4年間を通して社会人として、企業経営者として通用する人間になるために様々なことを学びます。例えば「組織マネジメント論」や「農業経営分析・計画」などでは、リアルな企業経営上の問題を学び、「マーケティング論」などでは販売戦略を知ることによって市場を意識し、作るだけでなく、買ってもらえる農業経営をしっかりと学んでいきたいと思えます。

## 農業経営を修得する。

ビジネスとしての

鈴木 優輔  
山形県立上山明新館高等学校出身

# で語る！ のここに注目！

## 広大な「圃場」から

## 私たちの

キャンパス内にある「学内圃場」は年間を通じて様々な農作業を体験できる場です。1年次から広々とした環境で、四季の気候に対応してどう作物を栽培するかを実践できます。今は2年次から始まる臨地実務実習で、実際の生産現場に行くことをとても楽しみにしています。

## 明日が始まる。



## 世界を意識した 経営のために

## 1年次から特色ある カリキュラムで学ぶ。

これからは地域特性を活かした生産物を国際市場に売り込んでいくことも必要です。そのため様々なカリキュラムが本学に用意されているのはうれしいですね。グローバルな視点を持った農業経営者となるために1年次からビジネス英語が必修になっていたり、「国際農業論」などが学べます。また附属施設の「気候変動対応型研究・研修センター」では、近年世界で激甚化する気候変動に対応した技術の開発と普及を研究することができ、これからの農業をリードできる教育環境が整えられていると思います。

堀 つぶら

山形県立酒田西高等学校出身

永井 龍雅

群馬県立勢多農林高等学校出身

